

2023年度
運輸安全マネジメント
推進要綱



CHUGOKU BUS

株式会社 中国バス

は じ め に

2023年度も「日本一安全な運輸企業」を目指した取組みを実施します。2022年6月27日に弊社にて惹起した重大事故は運輸事業者として決して起こしてはならない事案であり、二度と同様の事案を発生させない様、輸送の安全確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、また、輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善(Plan、Do、Check、Act)を確実に実行し、安全対策を絶えず見直し、管理者・乗務担当社員・労使が一体となって業務を遂行します。

事故が経営者・運行管理者・教育担当者や整備管理者・事故惹起者との共同正犯であることを受け止め、全社一丸で対応します。また、事故を未然に防ぐため、運転適性診断や健康診断、添乗指導の結果を基に要注意者をリストアップし、グループのバス会社と合同で教育をすることにより、多角的な視点から「悪い癖」を修正していきます。とりわけハインリッヒの法則の通り、小さい事故の積み重ねが重大事故に繋がっている点から、小さい事故の段階で指導をより強化するとともに、乗務担当者個々の運転技量に応じた指導を行います。

社員一人ひとりが「尊い人命を預かっている」という社会的使命を自覚し、「忠恕（真心からの思いやり）」の精神での運転&接客に努め、社会やお客様に愛され信頼される運輸企業となるよう全社員の力を結集し、安全&快適運行に努めます。

2023年 両備グループ安全宣言

社会正義の経営方針に則り、交通運輸各社は、「運輸安全マネジメント」に基づき、「安全」を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張ることを宣言します。

2023年 両備グループ安全スローガン

- ・お客様へのホスピタリティを高めよう！～優しい運転、優しい接客を追求する
- ・皆でアサーション！事故を未然に防ごう！～明るくて、ものが言える職場環境を作る
- ・両備新交通三悪を撲滅しよう！～一人ひとりがプロ意識を高め、ルールを遵守する

※両備新交通三悪・・・アルコール検知違反、スマホ携帯ルール違反、バック事故

2023年 中国バス安全目標

件数目標：10万キロ当たり有責事故0.1件未満

スローガン：プロとして、ルールを守り、安全・安心・快適さの追求

中国バス 安全マネジメント(安全に関する基本的な方針)

1.輸送の安全に関する基本的な方針

1. 安全運転を第一とし、法令遵守し、基本に忠実に日々業務を遂行すること。
2. 車両の整備を的確に行い、始業点検を厳正に行うこと。
3. 点呼において、日々安全への啓蒙、関心を高めること。
4. 教育を通じて安全意識を常に涵養すること。
5. 万が一重大事故の場合、人命尊重を第一に対処し、速やかに上司、関係機関へ連絡をとること。

2.輸送の安全に関する目標

走行距離10万キロ当りの有責事故の発生件数 **0.1** 件未満
(有責事故・・・過失割合が重く、事故損害額が50,000円を超える事故)

3.事故に関する統計 (2022年度)

自動車事故報告規則 第2条に規定する事故	人身	1件	0.02件/10万* _□
	車両故障	14件	0.27件/10万* _□
	体調不良で運行を中断したもの	1件	0.02件/10万* _□
有責事故		7件	0.14件/10万* _□
総事故 (含 被害事故)		37件	0.72件/10万* _□

(統計年度は4月～3月)

走行距離10万キロ当りの有責事故の発生件数 0.1件未満は0.14件のため未達成

4.輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統(別紙)

- ①安全管理体制図
- ②中国バス・井笠バスカンパニー安全マネジメント委員会組織図

5.輸送の安全に関する重点施策

- ①運転の基本に戻り、日々の業務を安全に遂行します。
- ②指差確認喚呼と左折時一旦停止・右折時最徐行または一旦停止の励行で交差点事故を根絶します。
- ③点呼・健康管理システム「点呼・健康：ご安全に！」の活用で、健康起因事故の防止を図ります。
- ④車両の不具合による事故の根絶を図ります。
- ⑤ヒヤリハット情報&国交省メルマガの活用で、予見運転意識を高めます。
- ⑥教育・研修を通じ、安全意識を涵養し、指導を継続的に行います。
- ⑦情報伝達の迅速・正確さの向上を図り、安全運転に活用します。
- ⑧事業所の巡視・監査を通じ、現場の諸問題を速やかに解決します。
- ⑨職場内対話の充実に、不安全行動を防ぎます。

6.事故・災害時の連絡報告体制図(別紙)

7.輸送の安全に関する会議等の実施計画(別紙)

8.輸送の安全に関する教育・研修等の実施計画(別紙)

9.輸送の安全に関する教育・研修投資等の実績及び計画(別紙)

10.輸送の安全に関する内部監査

各営業所において、安全統括管理者による内部監査を年1回以上実施し、諸法令への適合性並びに各営業所の運営状況を確認しております。

11.安全に関する資料・記録の保存

- ①輸送の安全に関する基本的な方針
- ②輸送の安全に関する重点施策
- ③事故・災害時の連絡報告体制
- ④輸送の安全（施策の見直し）に関する会議の議事録
- ⑤事故・災害等報告記録
- ⑥運輸局通達等発信情報記録
- ⑦輸送の安全に関する内部監査結果

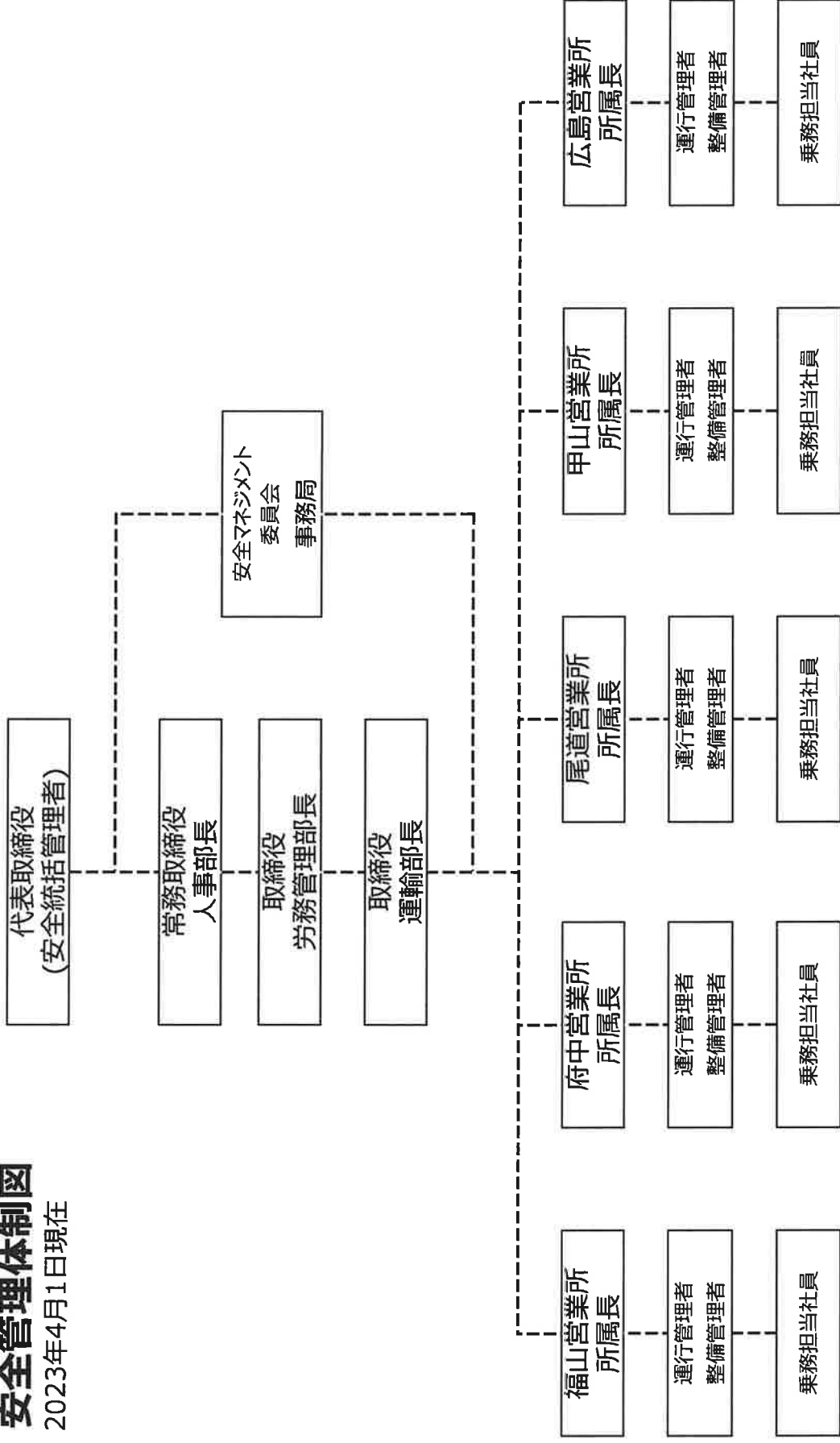
12.安全統括管理者

株式会社中国バス 代表取締役
山田 英夫 (やまだ ひでお)

4-①

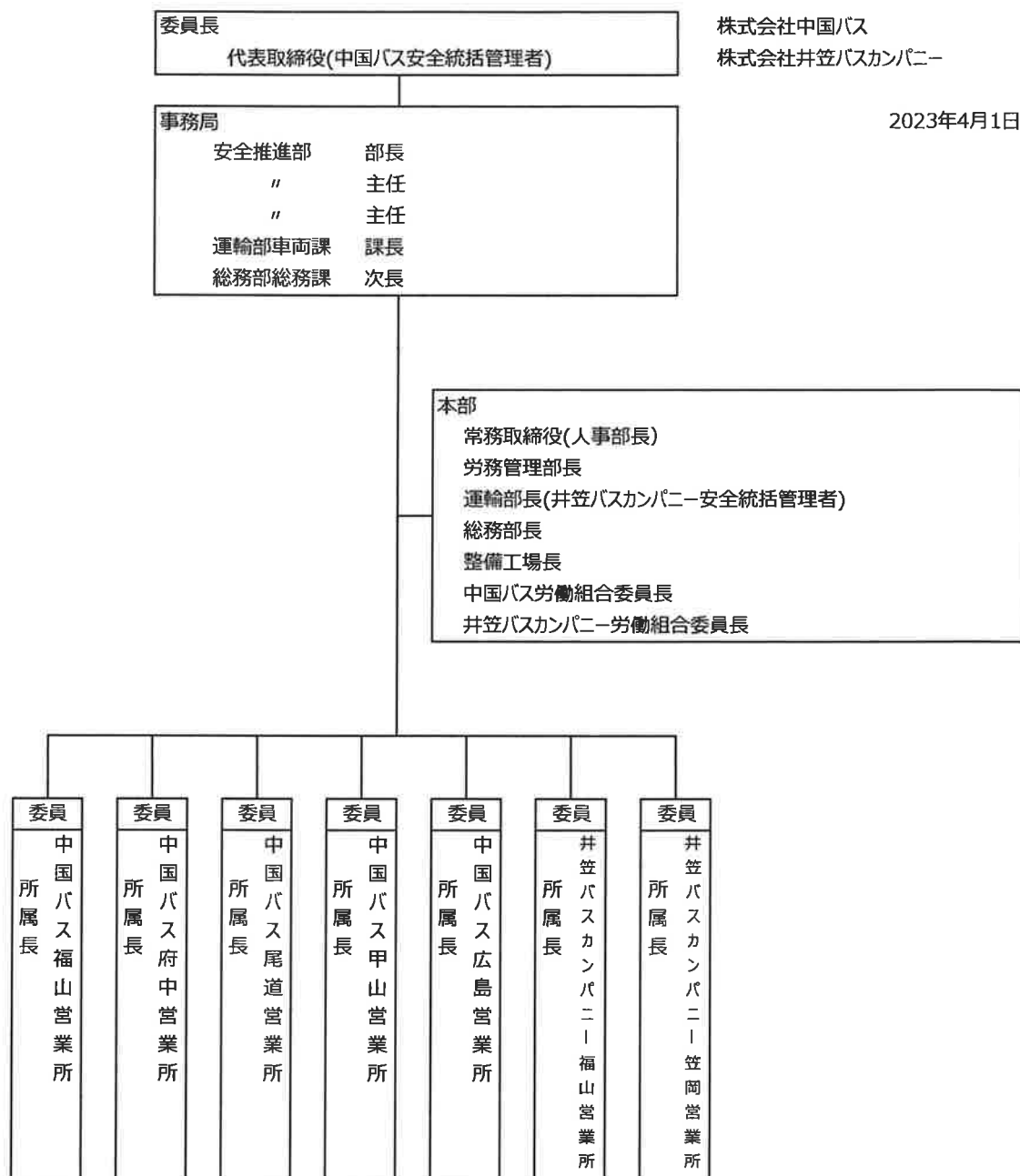
安全管理体制図

2023年4月1日現在



4-②

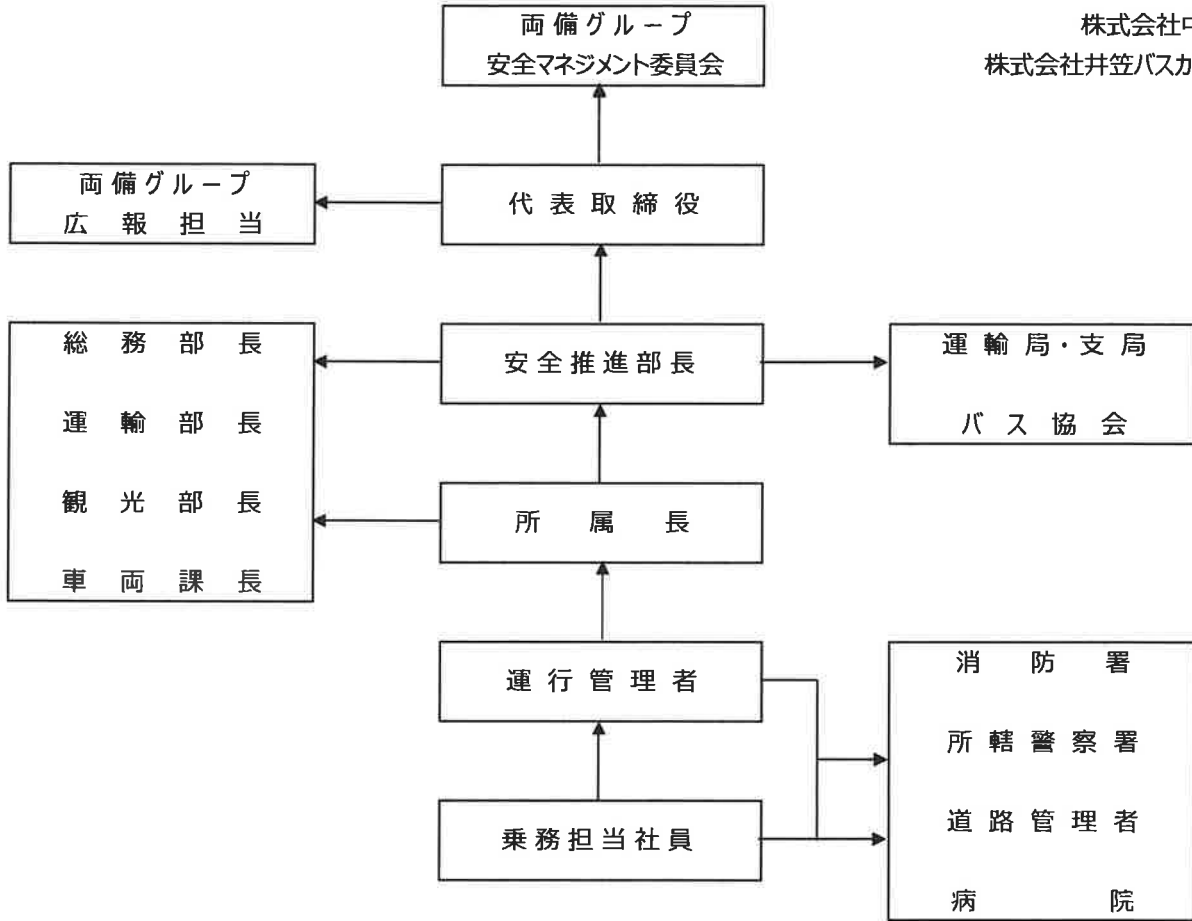
中国バス・井笠バスカンパニー - 安全マネジメント委員会組織図



6. 事故・災害時の連絡報告体制図

2023年4月1日現在

株式会社中国バス
株式会社井笠バスカンパニー



8. 2023年輸送の安全に関する教育・研修等の実施計画

株式会社中国バス

実施月	教育内容					
	営業所	実施日	本社	実施日	SSP-UPセンター・社外等	実施日
1月	I. バスを運転する心構え		新入乗務担当社員教育		初任乗務担当社員教育	
	事故事例（国交省メルマガ使用）		運行管理者・運行管理補助者教育		事故惹起乗務担当社員教育	
2月	II. バスの運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと		新入乗務担当社員教育		初任乗務担当社員教育	
	事故事例（国交省メルマガ使用）		貸切・12M雪上訓練		SAFETY教育（事故惹起乗務担当社員技能教育）	
			運行管理者・運行管理補助者教育		乗務担当社員フォローアップ教育	
3月	III. バスの構造上の特性		新入乗務担当社員教育		初任乗務担当社員教育	
	事故事例（国交省メルマガ使用）		高速・貸切ステップアップ教育		ベテラン（高齢）乗務担当社員教育	
			運行管理者・運行管理補助者教育		事故惹起乗務担当社員教育	
4月	IV. 乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項		新入乗務担当社員教育		初任乗務担当社員教育	
	事故事例（国交省メルマガ使用）		新卒乗務担当社員教育		SAFETY教育（事故惹起乗務担当社員技能教育）	
					乗務担当社員フォローアップ教育	
5月	V. 乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項		新入乗務担当社員教育		初任乗務担当社員教育	
	事故事例（国交省メルマガ使用）		救急救命講習		事故惹起乗務担当社員教育	
6月	VI. 運行路線・経路における道路及び交通の状況		新入乗務担当社員教育		初任乗務担当社員教育	
	事故事例（国交省メルマガ使用）		新任チームリーダー教育		ベテラン（高齢）乗務担当社員教育	
			非常時危機管理訓練		SAFETY教育（事故惹起乗務担当社員技能教育）	
					乗務担当社員フォローアップ教育	
7月	VII. 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法		新入乗務担当社員教育		初任乗務担当社員教育	
	事故事例（国交省メルマガ使用）		高速・貸切ステップアップ教育		ベテラン（高齢）乗務担当社員教育	
			運行管理者・運行管理補助者教育		事故惹起乗務担当社員教育	
8月	VIII. 運転者の運転適性に応じた安全運転		新入乗務担当社員教育		初任乗務担当社員教育	
	事故事例（国交省メルマガ使用）		高速・貸切ステップアップ教育		SAFETY教育（事故惹起乗務担当社員技能教育）	
					乗務担当社員フォローアップ教育	
9月	IX. 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法		新入乗務担当社員教育		初任乗務担当社員教育	
	事故事例（国交省メルマガ使用）		添乗調査		事故惹起乗務担当社員教育	
			接客サービス教育		初任乗務担当社員フォローアップ教育	
10月	X. 健康管理の重要性		新入乗務担当社員教育		初任乗務担当社員教育	
	事故事例（国交省メルマガ使用）		交差点立哨調査		SAFETY教育（事故惹起乗務担当社員技能教育）	
					乗務担当社員フォローアップ教育	
11月	XI. 安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法		新入乗務担当社員教育		初任乗務担当社員教育	
	事故事例（国交省メルマガ使用）				事故惹起乗務担当社員教育	
12月	XII. ドライブレコーダーを活用した安全運転		新入乗務担当社員教育		初任乗務担当社員教育	
	事故事例（国交省メルマガ使用）		冬季・タイヤチェーン講習		ベテラン（高齢）乗務担当社員教育	
					SAFETY教育（事故惹起乗務担当社員技能教育）	
				乗務担当社員フォローアップ教育		
				接客サービス教育		

9. 2022年度 安全に関する投資実績

単位：千円

乗務担当社員教育	583
運行管理者講習	134
適性診断	64
定期健康診断(SAS検査・脳ドック・LOX-index含む)	1,440
個人貸与アルコールチェッカー更新	785
無事故表彰記念品	1,215
小計 (a)	4,221
ドラレコ・デジタコ更新	47,145
タイヤ購入費用	7,150
小計 (b)	54,295
総合計 (a)+(b)	58,516

9. 2023年度 安全に関する投資計画

単位：千円

乗務担当社員教育	700
運行管理者講習	140
適性診断	70
定期健康診断(SAS検査・脳ドック・LOX-index含む)	1,600
個人貸与アルコールチェッカー更新	800
無事故表彰記念品	1,300
小計 (a)	4,610
車両新造(乗合)	25,000
タイヤ購入費用	7,500
小計 (b)	32,500
総合計 (a)+(b)	37,110